



医療法人社団 吉田会 吉田病院 平成 20 年 7 月 15 日発行

### 病院理念

私たちの力の全てを  
心の悩みを持った方とご家族のために  
～ All for our clients ～

### 基本方針

1. 私たちは、患者様おひとりおひとりの個性を尊重し、その心の理解に努め適切な援助を行います。
2. 私たちは、患者様とご家族が安心して利用していただける病院運営を行います。
3. 私たちは、常に技術向上をこころがけ全職員の連携を大切にします。
4. 私たちは、地域に開かれた精神医療を目指します。

### 患者様の権利に関する宣言とお願い

- 1. あなたはひとりの人間として、常にその人格、価値観などが尊重される権利があります。
- 2. あなたは社会的な地位や病気の種類などにより差別されることなく、良質の医療を受ける権利があります。
- 3. あなたは自分が受ける治療や検査について、理解しやすい言葉や方法で説明を受ける権利があります。
- 4. あなたは自分自身の治療などについて、自分の意見を述べ自ら決定する権利があります。
- 5. あなたは自分の健康状態・症状・診断等の個人情報やプライバシーについて保護される権利があります。

## 日々の雑感

医療法人社団吉田会吉田病院 院長 吉田昌平

最近、というか院長を引き受けて以来、立ち止まる暇もなく忙しい毎日である。知らず知らずのうちに、スタッフや家族に「忙しい」ことを言い訳にしようまく立ち回れずにいる自分が恥ずかしい。

平成 16 年に院長に就任して以来、めまぐるしい変化を示す近年の社会情勢、とりわけ医療行政に対応し



ながら、息つく間もなく病院の改善に取り組み、診療に管理業務に頑張ってきたつもりである。しかし先は見えず 42 を重ねてきたにも関わらず未だ定見を持つに至らず、「何をやっているのだ」とぼやく毎日である。

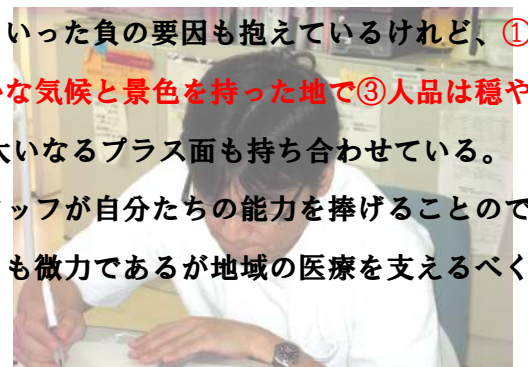
こんなリーダーではあるが（だから？）、幸い当院には「病院を良くしたい」「患者様のために力になりたい」と考えるモチベーションの高いスタッフが徐々に増えてきた。私にとっては大変頼も

しく同志のように思う人達だ。

その中で、おぼろげながら「吉田病院らしさ」も見えてきた。

当院は①過疎高齢化が進む②島嶼部にあり③慢性的な人手不足といった負の要因も抱えているけれど、①救急・思春期に特化しにくい、多様な悩みを持つ方々に②穏やかな気候と景色を持った地で③人品は穏やかで人情味のあるスタッフとともに回復の場を提供できるという大いなるプラス面も持ち合わせている。

当院を選んでくださった様々な背景を持った利用者の方に、スタッフが自分たちの能力を捧げることのできる病院であり続けること。このことを大切にしながら、これからも微力であるが地域の医療を支えるべく努力していきたい。



最後に、日ごろより当院の診療活動に様々なご指導・ご支援を頂いている皆様に心から感謝申し上げます。

# ピアハウス花水木 (はなみずき)

平成 20 年 6 月、精神障害者向け賃貸住宅「ピアハウス花水木 (はなみずき)」が完成し、この度ご入居いただけるようになりました。このアパートは長期に渡って精神科病院に入院されている方の社会復帰の第一歩として、住居を提供するために建設したものです。



居室は全 16 室あり、全て個室 (ワンルーム・ミニキッチン・バス・



トイレ付) となっております。退院後すぐにも生活ができるように、居室にはエアコン・テレビ・オープンレンジ・冷蔵庫・洗濯機・ベッドも完備しております。

当院のスタッフがご入居者の皆様を医療面でも生活面でもサポート。

「自分らしい生活」を取り戻すお手伝いをさせていただきます。

どうぞ、よろしく申し上げます。

## 研修会報告

### 褥瘡対策研修会

近年当院では、患者さまの高齢化やそれに伴う低栄養状態などの様々な要因が複雑に作用し、褥瘡 (床ずれ) の発生が急速に増えつつあります。この現状を前に褥瘡対策を改めて考え直す必要があると感じました。その一環として褥瘡治療の製品を取り扱うコンバテック社の大島氏をお招きし、褥瘡治療についての講義を行っていただきました。

“間違いだらけの褥瘡治療” という講義の中では、実際にある間違っただけの褥瘡治療の例を学ぶことができ、誤ったケアや治療法がいまだに行われている現状を知ることができました。また具体的に症例をあげ、その状態に応じた治療法や使用する製品等を理解することができました。

今後も定期的な勉強会を開催し、全ての医療従事者の褥瘡治療に対する関心や知識向上に努め

# 作業療法

## Occupational Therapy

はじめまして。作業療法士の鮫島です。平成19年3月に作業療法（Occupational Therapy：以下OT）室を開設し、早いもので2年目を迎えました。1年目は入院されている方にOTを知っていただき、生活の一部として定着することを目指し活動しておりました。後に女性のスタッフが配属となり、男性の私とは一味違った女性ならではのサービスを提供してくれております。

現在常勤2名と非常勤1名、更に実習生を受け入れ、明るく楽しい雰囲気の中、対象の皆様のリハビリテーションを支援させていただいております。

ここまでOT室の経過を説明いたしました。ここからはOTがどんなものなのかを少しでも触れさせていただきます。

人は生活の中で、なんらかのストレスにさらされています。皆様はこのストレスをどうやって解消しておられますか？きっとスポーツをしたり、友人と食事やおしゃべりを楽しんだりと自分の好きなことをされていますよね。さらに旅行や祭りなど日常とは違う刺激で気分転換されているのではないのでしょうか。

こころの病をお持ちの方は、ストレスにとっても弱く、その解消法も上手ではないことが多いのです。私たち作業療法士はそんな方々にいろいろな作業活動を使って、元気になるお手伝いをさせていただいております。写真は活動の一例です。



初詣の様子です。今年の目標を願いました。



退院支援グループでの調理活動です。退院目指して頑張っています。

OTがどんなものであるかを少しでも知っていただけましたか。皆さまにOTについて少しでも知っていただければ幸いです。今後ともよろしく申し上げます。



# 職員紹介

## 看護部顧問 中下 マシエ



### 看護のみち ひとすじに

今回の職員紹介では 中下 マシエ看護部顧問を紹介します。

17歳の時、看護学校に入学し、4年間看護学・産婦人科学を学ぶ。呉海軍共済組合病院で勤務した後、結婚のため退職。その後戦時中に医療現場へ復帰し、江田島にできた軍施設の医務課にて海軍の治療にあたる。

昭和44年からは当院に長年勤務しており、現在も島内有数のベテラン看護師として活躍中です。戦争・子育て・家族の介護などを経験し、豊富な知識と温かい人柄が当院自慢の看護師です。

【看護師になって何年ですか？】

「看護職に携わり約70年経ちますが、看護を通して患者様や職員との関わりを持つことができ、とても楽しく仕事をしています。気がつけば70年あっという間に過ぎていたように感じます。」

【看護師として働き始めた頃はどんな様子でしたか？】

「私が看護師になった頃日本は戦時中で、海軍の負傷者の治療に携わっていました。江田島の医務課勤務時代には、徴用された学生たちによる海の埋め立て工事のため、山を爆破させ土を掘り起こす作業が行われ、そこでの負傷者が多く運ばれてきていました。戦争の恐ろしさを仕事を通して強く感じました。戦争では私の大切にしていた本、家族や友人の写真など全て焼けてしまったことが今でも悲しい思い出です。」

【元気の秘訣を教えてください】

「看護師として勤務することと共に、生きがいになっていることは畑仕事です。季節の野菜や特にみかんの栽培に力を入れており、今は柑橘の剪定の仕方を息子に教えています。また、料理も好きで、子どもや孫が帰ってきた時にはたくさんの手料理を振舞います。」

【最後に】

「私には医療現場での長い歳月の積み重ねだけですが、その経験を重宝していただいたときはとてもうれしく感じています。これからの看護情勢は厳しさを増す一方ですが、できる限り、“今の時代”についていけるよう、これまでの経験を活かし今後も努力して参ります。」

### 【診療案内】

■診療科 精神科/神経科/内科

■診療日 月曜日～土曜日（日祝休診）

■診療時間

午前/9:00～12:00（受付11:30まで）

午後/予約のみ

### 【アクセス】

●広島港より

切串港行きフェリーに乗船 車で15分

小用港行き高速船に乗船 車・バスで20分

●呉中央棧橋より

小用港行きフェリー・高速船に乗船 車・津久茂行きバスで20分

### 【周辺地図】



### 【編集後記】

※ほとんどイベントの告知です。

いよいよ夏本番です。花火大会や海水浴など、たくさんの楽しいイベントが目白押しですね。

吉田病院でも8月9日の土曜日18時より当院のグラウンドにて夏祭りを開催します。当日はどなたでもお越しいただけます。皆さまにも楽しんでいただけるよう盆踊りや屋台、花火大会などを企画しておりますので、どうぞお気軽にお越し下さいませ。

医療法人社団 吉田会 吉田病院

〒737-2126

江田島市江田島町津久茂2-6-2

TEL 0823-42-1100

FAX 0823-42-1195

<http://www.yoshida-hospital.org/>

